

ぼくと魚の宇宙りょ 行

吹田市立豊津第二小学校三年 梅崎瑛流

二〇七五年、二二一は火星き地の魚のようしきく場MFC。ぼくは、魚をかんりしている。時間がくると、えさをあたえて、ひょうう気になつてないか、注意ぶかくかんさつしている。

MFCには、大きな水そうがいくつもあり、火星での食生活をささえ、たくさん魚がようしきくされている。

今から十五年前、世界の宇宙開発は、さらには進み、火星にはすでに火星き地がかんせいして、いた。人間のき地での生活をささえため、食りようき地も広大な地下にけんせつされた。それがMFCというきよだいな魚のようしきく場だ。

火星き地の食生活をささえ、ため、地キゅうから、魚をはこぶ計画が進められたのだ。まず、魚を火星へはこぶために、む重力でのかんきようにたえられる魚を、選びだすこ

とから始ま<sup>た。</sup>む重力の水そ<sup>う</sup>の中では、  
どこが上<sup>う</sup>なのが分からなくなる。魚はふたん  
耳石によ<sup>つ</sup>て重力のある水の中で、体のバラ  
ンスをと<sup>つ</sup>て、生きている。この耳石によ<sup>つ</sup>  
てバランスをとることが、む重力でのかんき  
うでは、じずかしくなり、魚はルーピング<sup>ルーピング</sup>  
をおこしてしま<sup>う。</sup>バランスをとろうとして  
水の中でぐるぐると、回<sup>まわ</sup>てしま<sup>う</sup>この動き  
により、水そ<sup>う</sup>に頭をぶつけてしま<sup>う</sup>魚<sup>さ</sup>え  
い<sup>る</sup>のだ。そこで、いろんな魚でルーピング<sup>ルーピング</sup>  
をおこ<sup>な</sup>い魚を選び、光があたる方<sup>が</sup>上<sup>あ</sup>だ  
と、分かる魚だけをそ<sup>だ</sup>て、火星へはこ<sup>ぶ</sup>こ  
とにこ<sup>な</sup>った。そして、宇宙での魚のえさも開  
発された。宇宙船の中では、水<sup>みず</sup>が一番大事で  
きちよ<sup>うな</sup>物だ。水そ<sup>う</sup>がきたよくなるてし  
ま<sup>ま</sup>ても、水そ<sup>う</sup>の水を全部とりかえること  
はできない。そのため、水そ<sup>う</sup>の中をきれい  
にたもつため、えさが水そ<sup>う</sup>の中にこ<sup>こ</sup>て  
しまう物ではなくて、魚が食べやすく、水に  
とけてしまわ<sup>な</sup>いようなえさが開発された。

このことで、水そうの中は、水がフイルターやを通過することできれいにたもたれ、えさもフイルターをうまらせないようにすることができる。これまで、火星へ魚をはぶしんびができた。これで、火星へ魚をはぶしんびができた。

二〇六三年、火星の地下のたんさが始まつた。そのけか、地表からやく10メートル地下に氷のそづが発見された。この氷をとかして、大量の水を作り出す計画が立ち上かた。火星基地から1キロメートルの場所で、氷の

そうをほて、地下のき地へとベルトコンベアではこび、氷を水にかえる。そして、好適かんきう水を作る、きう大な水そうを地下にけんせつした。M.F.ロボットと開発チームの人間たちは、このきう大な水そうをじじよにき地の周りにけんせつしていき、地きうからはこんだ魚を、この水そうでそたてることになつた。これらはMars Farming Center-M.F.C.とよばれることになつた。

地 きゅう うからはこびだされた魚は、MFC の四つの水そうに分けてそだてる。一つ目は、地 きゅう うからこばれた魚をそだてる水そう。二つ目は、一つ目の水そうの中から水そう。二つ目は、一つ目の水そうの中からさんらんする魚を選び出し、そだてる水そう。三つ目は、稚魚をそだてる水そう。四つ目は成長した魚をそだてる水そう。この四つ目の水そうの魚になると火星 き 地 ち の食料となるのだ。

二〇七五年、ぼくの日の前でアジが きよ 大

な水そうで、むれにな、て泳いでいる。ここは、MFC。そしてぼくは、Mars Fa rming Robot — MFC ボットーとよばれている。魚たちは、火星 き 地 ち の食りようとして、好適 かんきよ う水でそだてられている。

人間たちは、太陽系をだ、出する計画を進めて、有人たちをするために、火星 き 地 ち からさらに食料をつみこむため、立ちよることになつた。二のアジのむれも、この有人たち

さの食料としてはこぼれる。ぼくがそだてて  
きたアジたちは、やたらに宇宙のたびへとたび  
立つ。そして、ぼくもMFロボットとして、  
魚のかんりをするために、ついに宇宙へとた  
び立つ。ぼくと魚の宇宙リョウ行が、今、始ま  
るのだ。

おり

